

第3回上天草市まち・ひと・しごと創生推進会議での意見への対応について

資料1

項目	意見	検討事項	対応	KPI
<b>(1) 上天草市が好きになる！</b>				
ア) 関係人口の創出・拡大 イ) 市民の参画意識の醸成				
< KPI > ふるさと納税 件数	年々件数は増えてきている。毎年18,000人が寄附してくれるが、リピーターは1割くらい。 返礼品で出している地域感謝券は上天草に来ないと使えないもの。 <u>ファンを増やすことに繋がるリアルな指標</u> があるといい。	<b>KPIの変更検討</b> →ふるさと納税による地域感謝券使用者(件)数 (産業政策課へ意見照会)	産業政策課：「上天草市に来ないと使えない返礼品(地域感謝券、宿泊券)の件数」に変更する。  ※「上天草市に来ないと使えない返礼品(地域感謝券、宿泊券)の件数」に変更	<b>戦略に反映</b>  KPI現状(H30) 360件 KPI目標値(R6) 410件
< KPI >につ いて	<u>中学生に「上天草が好き？」というアンケートは取れないか？</u> 地元に残っている子を33%→35%に増やすよりも、子どもたちが地元を好きになるような遊びをもっと体験させ、 <u>上天草の好き具合を測るアンケート</u> もいいのでは。	<b>KPIの追加・変更検討</b> 中学生の上天草の好き具合のアンケート実施について (学務課へ意見照会)	学務課：遊びを通しての「上天草が好き」というアンケートは、遊びの部分の設定が困難であるとする。教育委員会では、起業家教育事業として、本地方創生交付金を活用して起業体験活動を実施しており、本年度はその生徒を対象として実施する。  ※「将来、上天草市の役に立ちたい生徒の割合」に変更	<b>戦略に反映</b>  KPI現状(H30) 17.9% KPI目標値(R6) 40% ※現状どおり
< KPI > 地元中学生 の上天草高 校進学率 地元就職率	<u>多様性を縛るような地元高校進学率と地元就職率は避けたい。</u> ここが高校生と一緒に作っていく指標ではないか。	<b>KPIの変更</b> 上天草高校で実施するアンケート「将来、自分の住んでいる地域に役に立ちたい」割合 (企画政策課)	企画政策課：上天草高校で本年度から実施している地域との協働による高等学校改革推進事業(地域魅力化型)で実施している生徒の自己能力認識に関するアンケートの指標を活用することとし、KPIを「上天草高校生の地域に魅力を感じ、愛着を持つ生徒の割合」に変更する。  「上天草高校生の地域に魅力を感じ、愛着を持つ生徒の割合」に変更	<b>戦略に反映</b>  KPI現状値(H31) 81% KPI目標値(R6) 90%
イ) 市民の 参画意識の 醸成について	例えば、観光大使の部下・子分にあたるような人を中学生や高校生、一般の人がやる町はなかなか無い。 アイデアなら他には負けないという町であれば行ってみたいと思うのでは。 観光大使ジュニアとか。。崎津の世界遺産も高校生がガイドをやっている。	<b>施策提案</b> (観光おもてなし課へ意見照会)	観光おもてなし課： 市民の皆さまには大人、子どもに関わらず全員実質的な観光大使になってもらいたいと思っている。 来年度、夏休み期間に市内の子ども達にガイドツアーを体験してもらい、市内観光地の知識を高めると同時に、郷土愛の醸成を図ることを目的しておもてなし事業を計画している。また、出前講座において、市内学校で観光について授業を行っているところ。 今後も引き続き、「上天草市の良さ、楽しさを知る」取組みを継続していきたい。	<b>追記・修正なし</b>
<b>(2) 上天草に行きたくなる</b>				
ア) ターゲットを設定した観光メニューの開発 イ) 観光客誘致に向けたイベントの充実と情報発信の強化 ウ) 集客力を高める受入環境整備の推進 エ) 観光産業を担う経営者等の人材育成並びに組織化				
エ) 観光産 業を担う経 営者等の 人材育成並 びに組織化 に関して	観光業を生業とする若者の数、新しくレストランを起業した人の数とかを本当は知りたい。	<b>KPIの変更検討</b> 観光業(飲食・宿泊・アクティビティ等)の新規起業数 (観光おもてなし課へ意見照会)	観光おもてなし課： 検討した結果、「上天草市に行きたくなる」の施策に対するKPIとしては、まずは来てもらった人の実績を知りたい。 起業家数となると「働きたくなる」のKPIとして業種別に掲載してはどうか。 ※「上天草市で働きたくなる」のKPI「新規起業家数」の業種別内訳を効果検証の中で報告することとする。	<b>追記・修正なし</b>

(3) 上天草市で働きたくなる

- ア) 地場産業の強化支援及び育成
- イ) 農林水産物の販売促進
- ウ) 海運業の振興と担い手育成

<p>&lt; KPI &gt; 新規起業数</p>	<p>・「<b>継業数</b>」を指標に入れてはどうか？</p>	<p><b>KPIの追加検討</b> 「継業数」 (産業政策課へ意見照会)</p>	<p>産業政策課：市・商工会・天草信用金庫・くまもと産業支援財団・熊本県商工会連合会で連携し、本年10月に設立した上天草市小規模事業者支援ネットワークにおいて、市内事業者の支援を実施している。ネットワークの支援を受けて事業承継した件数は把握できるため、「上天草市小規模事業者支援ネットワークの支援を受けた継業者数」をKPIとして追加することは可能である。</p> <p>※「上天草市小規模事業者支援ネットワークの支援を受けた継業者数」を追加</p>	<p><b>戦略に反映</b></p>	<p>KPI現状値 (H30かH31) 0件 KPI目標値 (R6) 3件</p>
<p>&lt; KPI &gt; 物産館の販売額</p>	<p>・物産館に特定するのではなく、農林水産業に従事する人がどれくらいいるか、後継者がどういふふうに繋がっていくか、といった<b>生産者の動向を把握できないか</b>。 ・使いやすい数字でいいと思うが、従事したい方の意欲をくみ取るようなKPI設定ができれば。 →さんばーの数字でほぼ間違いないと思うが、その辺を工夫できないか。</p>	<p><b>KPIの変更検討</b> 「農林水産業従事者の動向」など (農林水産課・産業政策課へ意見照会)</p>	<p>農林水産課：農林水産業従事者数は、各団体等に所属している組合員数は把握できるものの、所属していない個人事業者までは動向を把握できない状況である。そのため、農林水産課が把握可能なさんばーの出荷協議会員数をKPIに設定し、減少傾向にある会員数のさんばーの出荷協議会員数の減少率を緩和し、売上額は現在の水準を維持することを目指し、毎年の出荷協議会員数の減少率を1%以下に抑える (R1：440人⇒R6：416人) こととし数値を把握していく。</p> <p>※「物産館出荷協議会会員数の減少緩和」を追加</p> <p>産業政策課：次年度以降の施策は、従事者の増に直結する事業でないため、変更予定なし。</p>	<p><b>戦略に反映</b></p>	<p>物産館出荷協議会 会員数の減少緩和 KPI現状値：440人 (R1) KPI目標値：416人 (R6)</p>
<p>ウ) 海運業の振興と担い手育成に関して</p>	<p>・海運業も跡継ぎの問題や、免許や資格を持った人がなかなかおらず、働き手がないことでの廃業が多い。 ・船員の学校3か月の学費を市が負担し、無償で学校に行けるとなれば、市の船員数は伸びるのでは。 ・船員が全国どこでも住めるからこそ、何かしら得ることがあれば、その人たちはどこにでも住む。 ・上天草市で働いてよかったと思ってもらう人を増やさないといけない。 (会議終了後)本市への一定期間の居住を条件に資格取得の費用を全額補助するなど、もっと思い切った施策はできないか。</p>	<p><b>施策提案</b> (産業政策課へ意見照会)</p>	<p>産業政策課：海運業の喫緊の課題である担い手不足等を解消するため、産・学・官・金からなる海運業次世代人材育成推進協議会をH28年に設置し、海運業の振興に取り組んでいる。さらに同様の目的で6つの補助金制度を設けており、海技免許の取得事業として、海運業者が支払う養成講座学費、交通費及び養成施設入学期間の5カ月分の人件費の1/2(上限70万円/人)を助成するもの、また、地元海運業者に雇われる船員の増加を目指し本市に定住するために借り上げた借家等の家賃等を助成する支援策に取り組んでいるところ。(全ての補助対象者は本市に事業所を有する者、本市の市民であることが条件)市補助金ガイドラインにおいて、施策推進に係る補助金については、原則、事業費の1/2以内となっていることから全額補助は難しい。</p>	<p><b>事業の参考とする</b></p>	
<p>新規 新規のKPI</p>	<p>・KPIの中に上天草市役所職員の働き方改革みたいなものが、総合戦略の中に入っているみたい。 ・上天草市役所が日本一働きやすい職場になることも併せてやっていくような思い切った提案を考えていただきたい。</p>	<p><b>施策提案、KPIの追加検討</b> (総務課へ意見照会) ※交付金の活用などに関係なく、総合戦略に掲載して併せてやっていくことへの検討</p>	<p>総務課： ①1月における職員1人当たりの時間外勤務時間を、2.5時間以内とする。 ②職員1人当たりの年次有給休暇取得を、12日とする。 ③適正な人員配置による各部署での業務量平準化を行う。 ④ノー残業デー（毎週金曜日）の実施。 ⑤「ゆう活」の趣旨に即した取組として、7月から9月の夏季において、年休を時間単位で取得してもらい早期退庁を促す。 ⑥職員間のコミュニケーションの促進を図ることを目的とし、ミニバレーボール大会等のレクリエーションを実施する。</p> <p>※トピックスとして戦略に記載</p>	<p><b>戦略に反映</b></p>	<p>②のKPI現状値 (H30)：74.6% ②のKPI目標値 (R6)：100%</p>

(4) 上天草市に住みたいくなる

- ア) 移住・定住の促進  
 イ) 住みよいまちづくりの推進  
 ウ) 子どもにやさしいまちづくり

イ) 住みよいまちづくりの推進 ウ) 子どもにやさしいまちづくり に関して	・地方創生は割と若い人や移住者を重視しがちだが、ここで長く生きられる、全ての人に役割があることが大事。 通いの場で学習支援、託児施設があると、地域の活性化や住みよいまちづくり、働く場の創出につながるのでは。	<b>施策提案</b> (高齢者ふれあい課・学務課へ意見照会)	高齢者ふれあい課：平成29年2月から65歳以上の者が介護予防等に係る自主活動を行っている団体の登録を行っているところであり、令和元年10月末において、62団体が登録している。現在は、介護予防等を目的に、活動に必要な備品の購入補助やリハビリテーション専門職の派遣を行い、立ち上げ時の支援を行うことにより、かよいの場の登録団体を増やし、その活動を浸透させる時期と考えている。また、活動については、週に1回、高齢者が集まりやすい平日の日に概ね2時間程度、各地区の公民館や集会所で行っている。今後、通いの場の活動が地域に浸透し、地域からそういったニーズがあった場合には、教育委員会等と連携を図りながら検討する。	<b>事業の参考とする</b>	
	・子育てをしている人たちも、人とそんなに繋がりたいわけではないけど協力してほしいという方も増えている。社会福祉協議会が実施する子育て支援は、ベテラン保育士さんたちが子どもを預かってくれる。住みよいまちづくり、子供にやさしいまちづくりという面で、1ターンでもUターンの方たちにも重宝される取組みとしてそういう指標が入るといいのでは。	<b>KPIの追加・変更検討</b> 「ベテラン保育士が子供を預かった件数などの指標」 (福祉課へ意見照会)	福祉課：上天草市ファミリー・サポートセンターの援助会員の要件は、「相互援助活動に関し、理解と熱を有している者、心身ともに健康で積極的に援助を行う者」となっており、資格の有無については問わないこととなっています。 昼間や長期休業中、保護者が就労等で不在となる家庭の児童を対象に遊びの場を提供し安心して子育てできる環境を整備していくため、新たに「放課後児童クラブの利用実人数」をKPIとして設定します。  ※「放課後児童クラブの利用実人数」をKPIとして設定	<b>戦略に反映</b>	KPI現状値 (H30) 349人 KPI目標値 (R6) 394人
<KPI>について	<b>子どもたちが自分たちでやりたいことを政策提言して実現していくようなものが1コマ設定</b> できないか。計画の一部を高校生がつくる、協力もしている、ということもアピールできる。	<b>施策提案</b> (企画政策課、学務課へ意見照会)	企画政策課：上天草高校で行われている文科省事業におけるビジネスプランの検討において、行政への提案があった際には参考にさせていただくこととし、そのような仕組みづくりについても検討したい。  学務課：政策提言して実現していくような取組みとして、市内小中学校の代表を集め、子どもサミットを開催している(2年に1回)。	<b>事業の参考とする</b>	